

ミルンヤンマ

7月4日、朝から雨です。車庫の中で山葵の出荷作業をしていた10時頃のこと。コンクリートの床の上をとぼとぼと、背中に白い点のあるおなじみのミルンヤンマのヤゴが歩いています。横を流れる水路から上がってきて、羽化場所を探しているようです。写真を撮りやすい場所で羽化してくれとばかりに、使い古した買い物籠を歩く前方に立ててやると、気に入ったようで中に入って格子につかまったまま動きが止まってしまいました。

外出から帰って、17時頃見に行くとヤゴは抜け殻となっています。2年ほど前にもこの用水路の草に止まって羽化したミルンヤンマが、途中で鳥にさらわれてしまいました。

「またヤラレタか」と思い切りが悪く19時頃点検すると、なんと籠をすり抜けて外側で羽化の継続中だったのです。そして一時間後、二時間後と観察しても一向に翅は固まらないようです。



5日の朝になって、どうにかミルンヤンマらしくなっていました。触れても飛び立つ気はないらしく知らん顔です。それでも14時頃に見たときには姿はなく、ゆっくり時間をかけて羽化していったようです。時間がかかったのは2日続いている雨のためでしょうか。

猛暑が続いている7月12日、頭越しに目の前をトンボが飛んでいきます。どの種類もそうですが、羽化したてはきらきら輝く弱々しい透明な翅です。「またミルンヤンマが来た」とすぐさま思いました。手で簡単につかまりそうなスピードでたどたどしく後ろから追いついて、数メートル先の玄関に消えていきました。家に飛び込んだかな(ときどき色々な虫が訪れます)と探

すと玄関脇にある郵便受けの隣で一休みしていました。まだ翅が伸びきらない状態でここまで来たようです。生活するには問題ないでしょうが、右側前翅が短いようです。その後、家の飼い猫に脅かされて空高く飛んでいきました。

